



地域包括ケア便り 第2号 令和4年9月

令和4年度の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業について、最新情報をご案内します。

1. 世界メンタルヘルスデー 普及啓発イベント

○10/10の世界メンタルヘルスデーに合わせて、アスリート等による対談動画の配信等、普及啓発イベントを開催します。



世界メンタルヘルスデー 2022 ～つながる、どこでも、だれにでも～

厚生労働省では、世界メンタルヘルスデー¹のイベントとして、ピアサポーターやメンタルヘルスの専門家による対談、日本を代表するアスリート等によるメンタルヘルスに関連した対談を実施します。対談の動画は令和4年10月10日10時からオンラインで配信予定です。

今回の動画は2部構成となっており、第1部では強い心の持ち主と思われることの多いアスリートの方々に、競技や自身の経験を通じ、様々な角度からメンタルヘルスについて語っていただきます。そして、全ての人々がメンタルヘルスについて正しく理解することが必要であることや、普段から自分自身のこころの状態に関心を持って、こころの不調に早く気づくことが大切であるというメッセージをお伝えします。また、こころの不調がある人に、「周りの人ができることは何だろう？」と視聴者の方と一緒に考えていきます。

第2部では様々な立場から、「こころが不調」な時、どのように感じ、どのような行動を取ったのかなど、実際に精神疾患を経験された方々の経験談を交えながら、メンタルヘルスについて語っていただきます。そして、全ての人々がメンタルヘルスについて正しく理解することが重要であること、精神障害

WORLD MENTAL HEALTH DAY
世界メンタルヘルスデー2022
つながる、どこでも、だれにでも

10月10日(月・祝)10時 配信

著名人やピアサポーターなどが、メンタルヘルスについてわかりやすく語ります！

スピーカー: スポーツ心理学者(博士)/五輪メダリスト メンタルトレーニング士 慶應義塾大学特任准教授 田中ウルヴェ京氏 | 株式会社HIRAKU 代表取締役 ヲラゴビー日本代表キャプテン 廣瀬俊朗氏 | 競泳金メダリスト 萩野公介氏 | 元バレーボール日本代表 大山加奈氏

「メンタルヘルスは自分に関係ない」と感じている方にも、いまご自身や周囲の人が悩みを抱えている方にも、ご覧いただきたい、一緒に考えていただきたいテーマです。

| | | |
|-----|---|---|
| 第1部 | アスリートなどによる対談 「誰にだって起こりうる」そんなメンタルヘルスの問題について、トップアスリートの皆さんのお話を伺いながら、ともに考えます。 | 特設サイトからYouTube配信をご覧いただけます。その他メンタルヘルスに関する各種情報などを案内しています。 世界メンタルヘルスデー2022 特設サイト https://www.mhlw.go.jp/kokoro/mental_health_day/ |
| 第2部 | ピアサポーター*などによる対談 統合失調症やうつ病などの精神疾患について「正しく知り、向き合うこと」それがなぜ全ての人にとって大切なのか、体験談も交えて考えていきます。 | |

*ピアサポーターとは、一般に同じ経験や環境を経験する人がその体験から来る感情を共有することで、専門家による治療では届かない心の中や自己肯定感を導かれることを指します。

主催 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare | 協力 SILVER RIBBON JAPAN | 運営事務局 PwCコンサルティング合同会社 お問い合わせ先 090-6049-0064 jp_mental_health@pwc.com

¹ 毎年10月10日の「世界メンタルヘルスデー」は、メンタルヘルスの問題に関する世間の意識や関心を高めて、偏見を無くし、正しい知識を普及することを目的として定められた国際デーです。

の有無や程度に関わらず、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」を実現していくための土台となることを視聴者の皆さまにお伝えます。10月10日の配信をお楽しみに！

また、厚生労働省の特設サイトには、関係団体やアスリート等からいただいたメッセージも掲載しております。併せてご覧ください。

第1部 アスリート×専門家による対談

「誰にだって起こりうる」そんなメンタルヘルスの問題について、トップアスリートの皆さんのお話を伺いながら、ともに考えます。

【出演者】

| | |
|--------------------------|--|
| 田中ウルヴェ京氏 ※司会進行 | スポーツ心理学者（博士） / 五輪メダリスト / メンタルトレーニング上級指導士 / 慶應義塾大学特任准教授 |
| 廣瀬俊朗氏 | 株式会社 HIRAKU 代表取締役 / 元ラグビー日本代表キャプテン |
| 大山加奈氏 | 元バレーボール日本代表 |
| 萩野公介氏 | 競泳金メダリスト |
| 小塩靖崇氏 | 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部 研究員 |

第2部 ピアサポーター×専門家による対談

統合失調症やうつ病等の精神疾患について「正しく知り、向き合うこと」それがなぜ全ての人にとって大切なのか、体験談も交えて考えていきます。

【出演者】

| | |
|-----------------------|--|
| 藤井千代氏 ※司会進行 | 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部長 |
| 櫻田なつみ氏 | 一般社団法人日本メンタルヘルスパイサポーター専門員研修機構 理事 / 株式会社 MARS 精神障がい者ピアサポーター専門員（ピアサポーター） |
| 内布智之氏 | 一般社団法人日本メンタルヘルスパイサポーター専門員研修機構 理事 / 精神障がい者ピアサポーター専門員（ピアサポーター） |
| 吉野智氏 | PwC コンサルティング合同会社 精神保健福祉士 |

世界メンタルヘルスデー2022 特設サイトのご案内

対談の動画や、著名人・関連団体等からいただいたメッセージ等は以下のサイトより閲覧いただけます。

・対談イベントの動画配信（10月10日（月）午前10時～）

https://www.mhlw.go.jp/kokoro/mental_health_day/

・著名人・関連団体等からのメッセージ動画、一言メッセージ（随時掲載）

https://www.mhlw.go.jp/kokoro/mental_health_day/msg.html

2. 研修の実施

本事業では、都道府県等の担当者様を対象に、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けた都道府県等のあり方や、医療計画との連動等について理解を深め、今後の実践に繋げていただくことを目的に研修を実施します。

既に開催概要を事務局よりご案内しておりますが、是非ご担当者様間でお誘いあわせの上、ご参加いただけますと幸いです。参加登録方法については、改めてご案内させていただきます。

多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援のための研修

令和4年10月25日（火）10時～17時（予定）

【日時】

- 令和4年10月25日（火）
11時～12時：医療連携体制の構築に関する講義等 ※当日受講または事前受講のいずれかを選択可
13時～17時：パネルディスカッション、演習等 ※当日受講のみ
当日必須でお時間を確保いただく時間帯は13時～17時になります。
なお、時間帯は若干の変更が入る可能性があります。

【目的】

- 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて、都道府県等で取り組む基盤整備のあり方及び精神疾患の医療体制について横断的な理解を深め、更なる充実に繋げる。
- 精神保健医療に関する地域の課題等を踏まえた医療計画の策定や、その実践のあり方について理解を深める。

【対象者】

- 都道府県、指定都市、特別区、保健所設置市において、精神医療連携体制の構築に携わられる方
※「にも包括」担当者様の他、関連する保健・医療の担当者様を想定しています。
都道府県における精神疾患分野の医療計画策定の担当者様には、本研修について直接ご案内しています。

【開催方法】

- オンライン形式（一部講義を事前に動画にて配信する予定です）

【主なカリキュラム（予定）】※カリキュラムは変更となる可能性があります。

| 項目 | 主なねらい |
|---------------|---|
| ＜午前の部＞ ※事前受講可 | |
| 1. 行政説明 | 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に関する制度、国の動向を理解する。 |
| 2. 講義 | 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制構築の取組の意義、重要性を理解する。 保健・医療・福祉の分野を含む多職種連携の重要性やあり方について理解する。 精神疾患に関する医療計画の方向性とポイントを理解した上で、精神保健医療に関する地域の課題等を踏まえた医療計画の策定のあり方を理解する。 |
| ＜午後の部＞ | |

| | |
|-----------------------|---|
| 3. パネルディスカッション | <ul style="list-style-type: none"> • 地域の課題やそれに対する取組等を踏まえた医療計画の策定、医療計画に基づく実践等に関し、都道府県の実情や課題も認識した上で、講義を踏まえた今後の展望について検討を行う。 • 研修参加自治体においては、各自治体の取組を振り返り、今後の方針を検討するきっかけとする。 |
| 4. 演習 | <ul style="list-style-type: none"> • 地域の課題やそれに対する取組状況等を踏まえた医療計画の策定、またその医療計画に基づく実践について、各自治体の取組や課題、今後の展望を共有する。 • 医療連携体制の構築に関し、日頃の連携における困り事等に関する意見交換をすることで、今後の対応に役立てる。 |

厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課

担当： 名雪、関根、今村、嶋田、渋谷

令和4年度精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築支援事業事務局

(PwCコンサルティング合同会社)

担当： 東海林、吉野、植村、橋本、島、鈴木

電話： 090-6049-0064 メール： jp_mental_health@pwc.com

※情報誌についてのお問い合わせは事務局までお願いします。